

貫気別川におけるヤマメの減少要因

貫気別川においてヤマメの推定生息数が平成10年に減少しているのは、平成9年8月出水による頭首工部の落差の増大による親魚の遡上障害。続く越冬初期(平成9年11月)の洪水による卵及び仔魚へのダメージ。の2点が原因と考えられる。

その後も、平成13年、平成15年の相次ぐ出水により、施設、河道が被災を受ける。現在は、災害復旧により、魚道などの施設は復旧している。



写真-2 平成10年10月撮影
(平成9年洪水後)



写真3 平成11年10月撮影
(頭首工下流部復旧)



写真4 平成15年5月撮影
(固定堰に魚道整備)



写真-5 平成16年6月撮影
(平成15年8月洪水で被災)



写真-6 平成18年5月撮影
(施設の復旧)